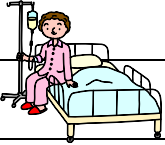


患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No1/1

月日	入院日（手術当日）		2日目 （術後1日目）	3日目 （術後2日目）	4日目 （術後3日目）	
	手術前	手術後				
目標 毎日看護師と評価します	□38度以上の発熱がない □手術のオリエンテーション内容が理解できる □入院生活について疑問があれば質問することができる		□痛みのコントロールができる		□創痛管理（必要時、薬の使用ができる）	
			□異常な性器出血がない		□排ガスがある	□生活の注意点が言える
			□バイタルサイン（体温・脈拍・血圧）が安定して経過する			□発熱・炎症反応の上昇が見られない
			□ベッド上安静の必要性が理解でき、守ることができる		□離床（座ったり歩行すること）の必要性を理解し離床できる □離床（歩行）ができる	□排便がある
内服 注射	□薬を飲んでいる方は看護師にお知らせください *下剤・睡眠薬・市販薬・サプリメントなども含みます	□点滴があります *医師の指示により、薬の内服を中止します	□点滴をしています（補液・抗生剤） □背中に痛み止めの管が入ってくることがあります	□点滴があります（補液） →終了後抜針します □朝から薬の内服を再開します		
検査		時計・入れ歯・指輪・眼鏡・コンタクト・髪留め・化粧・マニキュアは外して下さい	□採血があります 		□採血があります	
治療 処置	□下腹部の切毛があります	□傾漕腸をすることがあります □病衣に着替えます □血栓予防のため弾性ストッキングを履きます □部屋移動があります	□酸素マスクが装着されています □定期的に体温や血圧を測定します □お腹に管が入ってくることがあります	□回診時、背中の痛み止めの管を抜きます *痛みが出現したときは、痛み止めを使用します □お腹に管が入っている方は、刺入部の観察をします	□創の観察を行います □排液量により管が抜去となります 抜去翌日、抜去部の観察を行います	退院基準 □合併症（創部からの出血、腸閉塞、感染症）がなく経過し、自宅療養が可能な状態となる
食事 飲水	*アレルギーや制限のある方は看護師にお知らせください	□絶飲食 □指示以降飲むことができません。 *うがいは行うことができます。（飲み込まないようにしてください）	□起床後から水分を摂ることができます □全粥がです 	□普通食に戻ります 		
清潔	□マニキュアをしている場合は、落として下さい		□発汗時タオルで身体を拭くことができます	□タオルで身体を拭き、着替えを行います	□回診後、お腹の管が抜去された場合、シャワー浴が可能です	
排泄			□尿の管が入っています	□歩行後尿の管を抜きます *その後、排尿時違和感や排尿できない場合は看護師にお知らせ下さい		
安静 活動	□病院内自由です *処置や説明がありますので、病棟を離れるときには担当看護師にお知らせください	□いつ呼ばれるかわからないので、なるべく部屋でお過ごしください	□ベッド上安静です *床ずれ予防のため1～2時間おきに身体の向きを変えます	□歩行することができます。 *最初の歩行は看護師と一緒にいきます	□病院内自由です	
説明 指導	□担当看護師から入院生活・治療処置予定について説明があります □担当医師から手術についての説明があります	手術は（ ）時頃呼ばれる予定です *時間を変更することがあります	□手術後、担当医からご家族へ手術の説明を行います *手術中、家族の方が病棟を離れる際は看護師に伝えてください		□退院診察 □担当看護師から退院後の生活についての説明があります *疑問点などがありましたら、遠慮なくお聞き下さい	

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります